

これからのコアネットに期待すること

1年半ぶりにコアネット主催のボーリング大会が開催されることになりました。私自身は右肩のリハビリ中で、残念ながらゲームには参加できません。しかしヨットがまだ残っておりますので、見学かたがた参加するつもりでいます。

はまゆう会のコアネットグループは、いつから一体どのような経緯で活動を始めたのでしょうか。おそらく相生プロジェクトが始まる以前(約 20 年前)に、自主的・自発的に組織を変革させ、自律した仕事場を生み出す日本の変革の方法について書かれた『コアネットワーク 変革する哲学』という本に接したからです。それ以前から、はまゆう会を良くしよう、或いは良くするという会が自然発生的に結成されており、これを理論づける本でもあったように思われます。

“管理”・“指示命令”・“やらせ”のパラダイムから、“自主性”・“自発性”・“自律性”の組織創造のパラダイムへの転換を元に結成されたコアネットを中心として、試行錯誤しながら今日のはまゆう会は成長してきました。

新しくできた図書室には、20 年前の第一版と第五版のコアネットの本が保管されています。今改めて繙いていますが、殊に 115 ページからの「コアネットワークという考え方」にその理念が述べられています。職場の要として、“場”の重要さと“志”の意味がそれで理解できるでしょう。

そろそろ空中廊下が完成し、名実共に新王子病院の統合が適いますが、私共はまだ多くの問題を抱えています。これからは新陳代謝された新しいコアネットの活躍が期待されます。

はまゆう会を良くしようと思われる方は、是非お力をお貸しください。

平成 27 年 4 月 28 日

はまゆう会会長 市丸 喜一郎

(書き起こし・校正：椎葉)

参考書：柴田 昌治

『【自主性・自発性】を組織する日本の変革の方法 コアネットワーク 変革する哲学』

(相生 RC 図書室)